

市報 やまぐち

 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>
 koho@city.yamaguchi.lg.jp

平成17年度決算報告
山口さんちの家計簿

P5 P2

地域で
輝くひと

岡本勝則さん

(市立徳地中教諭
女子卓球部監督)

「詳しくは17ページ」

2007 **2.1**
February
No.32

決算報告

平成17年度は合併により、旧団体での決算（4～9月）と、新市での決算（10～3月）を行いました。
 今回は、去る12月議会でも、平成17年度における合併後の決算が認定されたので、新旧団体合算での決算状況を報告します。
問い合わせ 市財政課（☎083-1934-2750）

一般会計

一般会計は、市税などを主な財源として、福祉、医療、教育施策や道路・公園の建設などを行う、行政サービスやまちづくりの中心となる会計です。

旧団体の平成17年度当初予算合計額は、694億2704万円、通年決算では歳入738億2832万円、歳出694億292万円となりました。

ただし、歳入については、旧団体での決算の剰余金が含まれているため、この額を除いた実質的な歳入決算額は704億6487万円となります。これから歳出決算額および平成18年度への繰越財源を差し引くと6億8494万円の赤字となりますが、35億円を超える基金(貯金)の取り崩しに依存しているのが現状です。

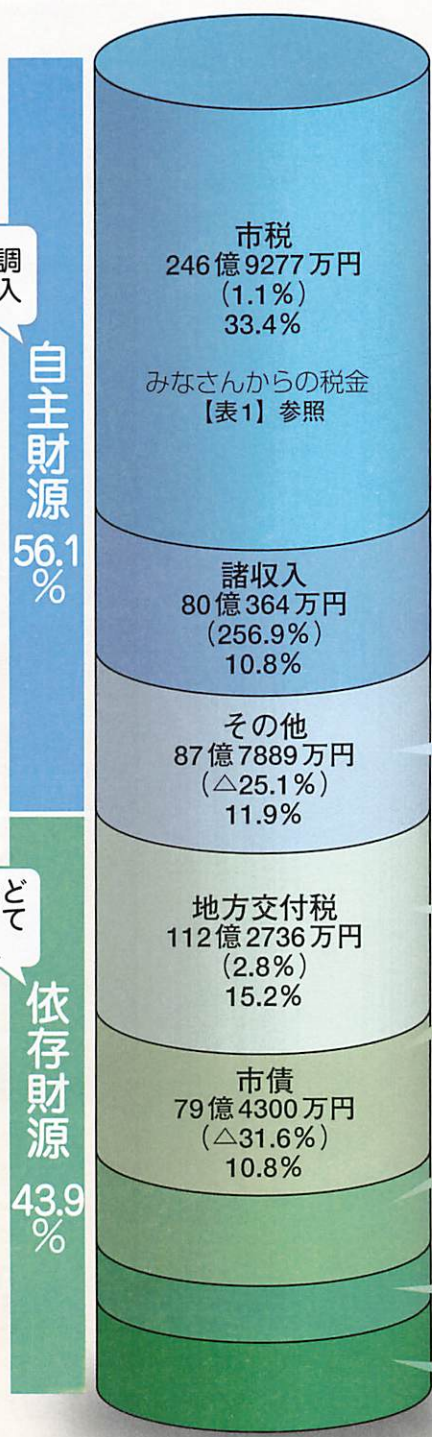
歳入

合併に伴う旧団体からの清算金（諸収入）の増はあるものの、臨時財政対策債の減や、※減税補てん債（3ページ参照）の借り換え（公債費）がなくなり、前年度の旧団体決算合計に比べ、1億1159万円、0.2パーセントの減となりました。
 平成17年度市税の決算内訳は【表1】の通りです。

一般会計 歳入総額

738億2832万円
 前年比0.2%減

()内は前年比、下段は構成比
 △はマイナス
 歳出についても同様



市が自ら調達する収入

自主財源 56.1%

国や県などに依存している収入

依存財源 43.9%

分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

他市町村と財源の均衡を図るため、国が交付するお金

借入金

国庫支出金 50億1539万円 (△2.3%) 6.8%
 特定の事業に対して、国が負担するお金

県支出金 32億8226万円 (4.9%) 4.4%
 特定の事業に対して県が負担するお金

その他 48億8501万円 (2.4%) 6.7%
 地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金など

【表1】市税の内訳

税目	平成17年度決算額	構成比 (%)	前年比 (%)
個人市民税	70億5,968万円	28.6	3.4
法人市民税	28億1,447万円	11.4	△1.5
固定資産税	114億2,168万円	46.3	0.8
軽自動車税	3億2,466万円	1.3	4.2
たばこ税	10億5,863万円	4.3	△2.2
鉱産税	2万円	0.0	△33.3
入湯税	7,535万円	0.3	△3.7
都市計画税	19億3,828万円	7.8	0.7
合計	246億9,277万円	100.0	1.1

【表2】市債の状況

区分	平成18年3月末現在高	市民1人当たり現在高(※1)
一般会計	941億7,973万円	49万9,079円
特別会計	492億2,360万円	26万 847円
合計	1,434億 333万円	75万9,926円
3月末現在高に対する利息(※2)	257億5,684万円	13万6,491円

(※1) 平成18年3月末現在の人口(188,707人)に基づき算出
(※2) 利息は、利率見直し等により変動します。

※減税補てん債：国の減税政策により、個人住民税などの減税が実施された場合、それを補てんするために借り入れるもの

合併に伴う電算システム統合経費や退職手当(総務費)の増はあるものの、道の駅(阿知須建設事業(農林水産業費)の終了や、減税補てん債の借り換え(公債費)がなくなり、前年度の旧団体の決算合計に比べ16億3,879万円、2.3パーセントの減となりました。平成17年度末の市債の状況は「表2」の通りです。

一般会計 歳出総額

694億292万円
前年比2.3%減

市民1人当たり
使ったお金
367,800円



児童、老人、社会福祉などのために
76,500円
民生費



市の管理運営のために
69,300円
総務費



道路や公園の整備などのために
48,100円
土木費



学校、社会教育などのために
38,000円
教育費



健康づくり、きれいなまちづくりなどのために
35,900円
衛生費



消防や災害の復旧のために
18,400円
消防費
災害復旧費



農林水産業のために
14,100円
農林水産業費



商工業などの振興のために7,800円
商工費



借入金の返済のために
54,900円
公債費



市議会の運営のために
3,500円
議会費



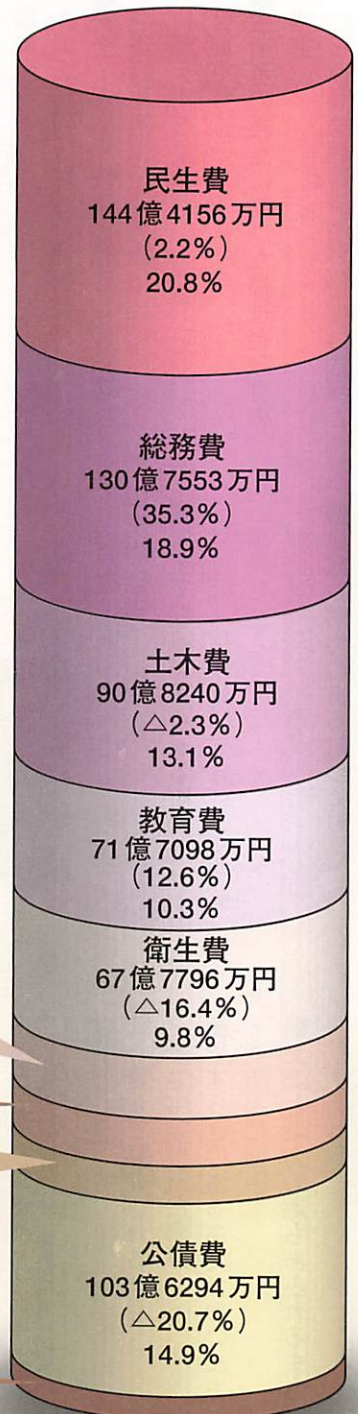
その他
1,300円
労働費 諸支出金

農林水産業費
26億6065万円
(△25.5%)
3.8%

消防費
32億8563万円
(△16.5%)
4.7%

商工費
14億6305万円
(△4.1%)
2.1%

その他(議会費、災害復旧費、諸支出金、労働費)
10億8222万円
(△21.2%)
1.6%



【表3】特別会計決算概要（合併時に廃止した特別会計は除く。△はマイナス）

区 分	歳出決算額	前年比	収支状況
国民健康保険	144億1,054万円	10.7%	4億710万円
老人保健医療	194億4,259万円	0.9%	△1億9,097万円※
介護保険	110億836万円	0.7%	4億1,361万円
介護サービス事業	2,350万円	12.8%	285万円
下水道事業	75億9,485万円	△8.2%	6,754万円
土地取得事業	1億9,818万円	△26.7%	0円
駐車場事業	3,470万円	△10.3%	650万円
小郡駅前第三土地区画整理事業	7億1,489万円	74.2%	0円
農業集落排水事業	9億5,240万円	△5.2%	266万円
漁業集落排水事業	3,624万円	△64.8%	0円
交通災害共済事業	1,569万円	△22.7%	195万円
国民宿舎	2億9,851万円	△16.7%	7,342万円
特別林野	1,825万円	△43.2%	202万円
合 計	547億4,870万円	1.8%	—

※マイナスの理由は国県等からの交付の一部が翌年度の収入になるため

特別会計

特別会計は、国民健康保険や下水道事業など、特定の目的を持って事業を行う場合に、保険料や下水道使用料など特定の収入を支出に充てるため、一般会計と区別して経理する会計です。平成17年度特別会計の決算は【表3】の通りです。

平成17年度に実施した主な事業

【山口地域】

- ・新たな個性を引き出す新県都の創造
- ・中核都市づくり推進事業
- ・国民文化祭開催準備事業



国民文化祭プレイベントのひとつ
第10回アートふる山口

- ・まちの活力とにぎわいの創造
- ・にぎわいのある都市核基本計画策定事業
- ・一の坂川周辺地区整備事業

- ・安全・安心・快適な暮らしの創造
- ・中間処理施設整備事業
- ・資源デポ整備事業
- ・御堀平井線道路改築事業
- ・生活者の視点に立った福祉と教育の推進
- ・休日夜間急病診療所外科平日開設
- ・白石公民館建設事業

【小郡地域】

- ・大内小学校屋内運動場増改築事業

- ・青空を彩る活気あるまちづくり

- ・公共下水道管渠整備事業

- ・小郡駅前第三土地区画整理事業

- ・人の温もり広がる自立・共生のまちづくり

- ・小郡中学校校舎改築事業

- ・運動公園アニスコート張替事業

- ・緑風がもたらす安らぎのあるまちづくり

- ・平成公園整備事業

- ・塵芥収集車購入



平成公園

【秋穂地域】

- ・安全で快適に暮らせる町づくり
- ・秋穂浦・尻川地区海岸保全施設整備事業
- ・秋穂港高潮対策事業
- ・自立し活力のある町づくり
- ・水産物供給基盤整備事業

- ・漁村総合整備事業
- ・豊かな心と文化の香る町づくり
- ・生涯学習施設建設事業

【阿知須地域】

- ・安全で快適な町づくり

- ・危険ため池丸塚二池改修事業

- ・排水ポンプ車購入

- ・温かい心かよう町づくり

- ・縄田地区民家利活用事業

- ・縄田地区力ラー舗装事業



縄田地区の町並み

- ・活力に満ちた豊かな町づくり
- ・遠石公園整備事業

【徳地地域】

- ・心豊かで夢の語れるまち
- ・徳地中学校統合事業
- ・やすらぎのあるあたたかいまち

- ・消防車整備事業

- ・交流と活力の満ちあふれるまち

- ・防災行政無線整備事業

- ・串掘点施設整備事業

市の財政ってどうなってるの？ ～山口さんちの家計簿～

山口市の予算規模は647億6,000万円です。といっても実感しにくいので、年収約647万円（月収54万円）の山口さんの家庭に置き換えて考えてみましょう。
※市の平成18年度の予算は（ ）で示してしています。

■問い合わせ 市財政課（☎083-934-2750）

1カ月の

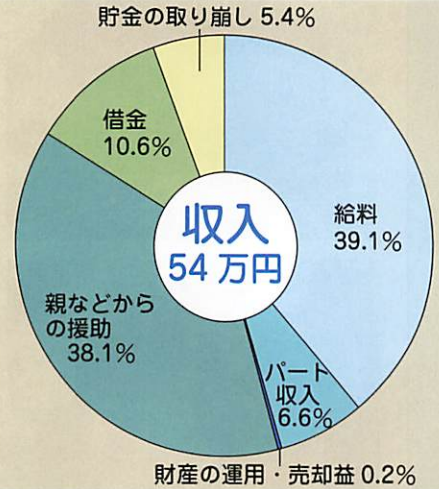
収入

山口さんの家族は…サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、2人の子ども



山口家の貯金は88万円（市の基金残高約88億円）収入の不足（財源不足）を補うために預金を崩しているため、このままの生活を続けると、平成20年には貯金（市の基金）がなくなってしまう。

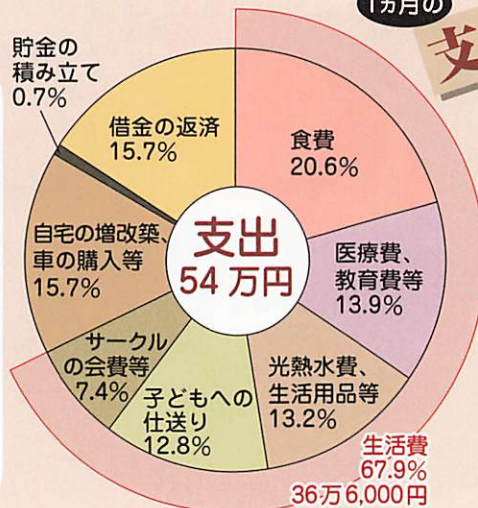
給料	21万1,000円	(市税253億円)
パート収入	3万6,000円	(使用料・手数料43億5,000万円)
財産の運用・売却益	1,000円	(財産収入1億円)
親などからの援助	20万6,000円	(地方交付税等246億7,000万円)
借金	5万7,000円	(市債68億8,000万円)
貯金の取り崩し	2万9,000円	(繰入金34億6,000万円)
合計	54万円	(合計647億6,000万円)



1カ月の

支出

山口家の借金は952万円（普通会計の市債残高約952億円）市債は、国の赤字国債とは異なり、学校や道路などの建設事業のための借金で、収支不足を補うものではありません。これらは長期間使用するため、世代間の負担を公平にする上で、市債を借りることは有意義です。しかし、借金が多いこと自体は問題なので、返済額を超える借り入れをしないことを基本として、借金を少なくしていく努力が必要です。



食費	11万1,000円	(人件費132億8,000万円)
医療費、教育費等	7万5,000円	(扶助費90億3,000万円)
光熱水費、生活用品等	7万1,000円	(物件費85億2,000万円)
子どもへの仕送り	6万9,000円	(繰出金82億7,000万円)
サークルの会費等	4万円	(補助費等47億7,000万円)
住宅の増改築、車の購入等	8万5,000円	(普通建設事業費等102億6,000万円)
貯金の積み立て	4,000円	(積立金4億8,000万円)
借金の返済	8万5,000円	(公債費101億5,000万円)
合計	54万円	(合計647億6,000万円)

山口さんちの現状とこれから

収入は夫婦合わせて24万7,000円ですが、食費などの生活費は36万6,000円も掛かっており、2人の収入だけでは賄えない状況です。また、自宅の増改築や借金の返済などを合わせた支出は54万円あります。これに対し、収入は親からの援助や借入金を合わせてもなお、2万9,000円不足するため、貯金を崩してやりくりしているのが現状ですが、頼りの貯金も少なくなってきました。この状況を改善するため、生活費を切り詰めて、支出を収入に応じたものにしていくとともに、収入増にも努め、有利なローンなどを活用し、貯金の取り崩しに頼らない家計のやりくりが必要です。



山口市の取り組み

厳しい財政状況を踏まえ、市では平成18年9月に「集中改革プラン」「定員適正化計画」「財政運営健全化計画」を策定しました。この計画に基づき持続可能な財政の自立を目指し、平成22年度までの5カ年の行財政改革に取り組んでいます（詳しくは「市報平成18年11月1日号」2～4ページ参照）。
※各計画や市の財政状況（山口市の台所事情）の詳細は、市ホームページ（表紙参照）でもご覧いただけます。



【主な取り組み】

収入確保のために

- ・企業誘致等による税収増
- ・市税徴収率の向上による税収増
- ・市有地の売却等財産の有効活用 など

コスト削減のために

- ・職員の定員適正化
- ・職員給与の見直し
- ・内部業務経費の削減
- ・指定管理者制度
- ・補助金等の見直し
- ・公共工事経費の縮減
- ・事業の見直し など

まちづくりの 主役は あなた



あなたの「やる気」が
市民参画のしくみをつくる

「新『山口市』誕生記念『笑顔』写真」応募作品より

「(仮称)山口市まちづくり基本条例」策定に向けて

講演会 「協働のまちづくり ～まちづくり基本条例のつくり方～」

市では現在「(仮称)山口市まちづくり基本条例」を策定し、自治の基本理念やまちづくりのための制度・仕組みを明らかにし、市民のみなさんがより市政へ参加しやすい形を整える準備を進めています。この講演会で「なぜこの条例が必要なのか」「どのようにつくっていくと良いのか」を一緒に学びましょう。

「協働のまちづくり」に向けた市民参画が、ここから始まります。ぜひご参加ください。

■条例策定に向けて 先進自治体の条例の研究や自治・まちづくりについての勉強、条例素案の協議・検討等を行う市民委員を公募します。募集の詳細は、後日市報等でお知らせします。

- 日 時 2月18日(日)
午後2時～3時30分
(午後1時30分開場)
- 場 所 県教育会館大ホール
(大手町2-18)
- 内 容 講演会、質疑応答
- 講 師 松下啓一氏
(大阪国際大学法政経学部教授)
- 受講料 無料 ※申込不要
- 問い合わせ 市企画経営課
(☎083-934-2911)

平成18年第6回市議会定例会

12月4日～19日

平成18年第6回山口市議会定例会が、12月4日から19日まで開催されました。今回の議会には、市長から「平成18年度山口市一般会計補正予算」や「山口市下水道条例の一部を改正する条例」など、3追加議案を含む50議案が提出され、審議の結果、撤回された1議案を除く、49議案が可決されました。



■ 予算に関する議案 ■

- 平成18年度山口市一般会計補正予算(第5号)
- 平成18年度山口市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成18年度山口市老人保健医療特別会計補正予算(第2号)
- 平成18年度山口市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成18年度山口市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成18年度山口市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成18年度山口市小郡駅前第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成18年度山口市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

■ 条例に関する議案 ■

- 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 山口市議会の議員その他非常勤の職員公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市秋穂基幹型在宅介護支援センター設置条例を廃止する条例
- 山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 山口市働く婦人の家設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市漁業集落排水処理施設設置及

■ 管理条例の一部を改正する条例

- 山口都市計画事業若宮町土地区画整理事業の施行に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市下水道条例の一部を改正する条例
- 山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 山口都市計画事業矢原町土地区画整理事業の施行に関する条例の一部を改正する条例
- 小郡都市計画事業小郡駅前第二土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例

■ その他の議案 ■

- 字の区域の変更について(6件)
- 字の区域の変更及び町の区域の新設について
- 住居表示を実施する区域及び住居表示の方法について
- 山口線上山口・宮野間折本川橋りょう改築工事委託に関する協定の一部を変更することについて
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- 山口市民会館の指定管理者の指定について
- クリエイティブ・スペース赤れんがの指定管理者の指定について
- 山口市菜香亭の指定管理者の指定について
- 山口市老人福祉館及び山口市山口児童館の指定管理者の指定について
- 山口市徳地老人福祉センター及び山口市徳地長寿苑デイサービスセンター

■ 指定管理者の指定について

- 山口市秋穂デイサービスセンターの指定管理者の指定について
- 山口市老人憩の家の指定管理者の指定について
- 山口ふるさと伝承総合センターの指定管理者の指定について
- 山口南総合センターの指定管理者の指定について
- 山口ふれあい館の指定管理者の指定について
- 山口市柔剣道場の指定管理者の指定について
- 山口市南部運動広場の指定管理者の指定について
- 山口市スポーツの森の指定管理者の指定について(撤回)
- やまぐちリフレッシュパークの指定管理者の指定について(撤回後、同名議案を追加提出)
- 平成18年度山口市一般会計補正予算(第4号)に関する専決処分について
- 教育委員会の委員の任命について
- 山口県後期高齢者医療広域連合の設立について
- 山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

■ 諮問 ■

- 人権擁護委員の候補者の推薦について

■ 報告 ■

- 損害賠償の額を定めることに関する専決処分について

市政トピックス

「移動市長室」「地域懇談会」を開催しました

1月10日から23日までの間、総合支所や公民館などを会場に、本年度3回目の「移動市長室」と、初めての実施となる「地域懇談会」を開催しました。

移動市長室は、市民のみなさんとの一体感の醸成を図るとともに、市民本位のきめ細やかな行政サービスを提供するため、市長が直接、市民のみなさんとの対話の中から市政へのご意見やご質問を伺うものです。

地域懇談会は、各地区の連合自治会の会長・役員のみなさんから、地域の課題や市の将来を見据えた提言をいただくものです。

ともに、市民と行政の協働による活

教育委員長が選出されました

12月25日に、市役所別館で開催された市教育委員会臨時会で、山本雅一氏が教育委員長に選出されました。任期



山本雅一
教育委員長

力に満ちたまちづくりを進めるため、市民との直接対話の中から、市政に関する貴重なご意見・ご提言をいただく場です。



移動市長室の様子(山口南総合センター)

みなさんが寄せられた貴重なご意見は、今後の市政運営に反映させていただきます。

市広報広聴課

(☎0833・934・2753)

は平成19年12月22日までです。教育委員会は、教育行政の安定性や中立性の確保を目的とした、教育行政の方針などの重要事項を決定する合議制の機関です。山口市教育委員会は5人の委員で構成され、委員は市長が議会の同意を得て任命しています。

市教育総務課

(☎0833・934・2859)

(株)日本クライメイトシステムズが山口テクノパークへ進出

自動車エアコン製造業の(株)日本クライメイトシステムズ(本社広島県東広島市)が、山口テクノパーク(佐山)に新工場を建設することを決め、12月1日、山口総合支所で進出協定の調印式が行われました。

新工場は、延べ床面積6300平方メートル。平成20年7月に従業員65人で操業を開始する予定で、最終的には140人の雇用が見込まれています。

今回の進出により、山口テクノパークの分譲率は69パーセント、進出企業数は24社となりました。



左から、渡辺市長、和田県商工労働部長、(株)日本クライメイトシステムズ 田中社長、中小企業基盤整備機構 久保山審議役

市商工振興課

(☎0833・934・2927)

史跡大内氏館跡第31次調査現地説明会が開催されました

12月9日、史跡大内氏館跡第31次調査の現地説明会が行われ、あいにくの雨にもかかわらず、75人の方が参加しました。

参加者たちは、全容を現した池泉庭園を前に、熱



職員の説明に熱心に聞き入る参加者

心に説明に聞き入っていました。今回の調査では、史跡東南部の池泉庭園について調査を行いました。この庭園は、大内氏30代義興の時代(16世紀初頭)に築庭され、大内氏が滅亡する16世紀中ごろまで使われていたと考えられます。

今後は、池泉庭園周辺の復元整備を行い、当時の姿を復元する予定です。

市文化財保護課

(☎0833・920・4111)



山口市民憲章を制定しました

1月7日、山口市民憲章を制定し、平成19年成人式で発表しました。

この憲章は、青年会議所や婦人団体、商工会議所青年部などの団体からの委員17人で構成される「市民憲章制定準備委員会」で素案が作成され、その後、

市民からの意見公募などを経て、制定したものです。

「5・7・5・7・5調」を基調として、口ずさみやすい形式が特長です。

市総務課

☎ 0833・934・2908

山口市民憲章

わたしたちは 県都山口の豊かなまちづくりと
ひとづくりをすすめるために 市民憲章を定め
市民一人ひとりが目標としていきます

- 一、美しく豊かな自然 大切に 清らかなまち つくります
- 一、交流と郷土の産業 育んで 活力あるまち つくります
- 一、勤労とスポーツ・教養 親しんで 健全なまち つくります
- 一、お互いに平和と人権 尊重し 心ふれあうまち つくります
- 一、山口の歴史と伝統 受けついで 文化かおるまち つくります

【説明】

- 一、美しく 豊かな自然 大切に 清らかなまち つくります
美しい海・山・川・空に彩られた豊かな自然に感謝し 大切に育て守る環境保護都市山口を実現します
- 一、交流と 郷土の産業 育んで 活力あるまち つくります
交流を活発にし 地産地消をすすめて郷土の産業を育て 世界に発信する産業振興都市山口を実現します
- 一、勤労と スポーツ・教養 親しんで 健全なまち つくります
日々の勤労とともに スポーツに親しみ 教養を深め 市民が生涯を通じて心身ともに健全に成長できる健康教育都市山口を実現します
- 一、お互いに 平和と人権 尊重し 心ふれあうまち つくります
世界の平和と人権の大切さを理解し 誰もが心あたたくふれあえる平和人権都市山口を実現します
- 一、山口の 歴史と伝統 受けついで 文化かおるまち つくります
大内文化をはじめとする山口の歴史と伝統を受けついで 故郷を愛するところを育て 新たなまちづくりに生かすとともに アジアそして世界に開かれた国際文化都市山口を実現します



ご覧ください

山口市の広報番組 2月の放送予定です



ラジオ番組

シティ・インフォメーション

FM山口 毎週月・金曜日の
午前9時26分から4分間放送

やまぐちマイタウン

山口放送 (KRY)
毎週木曜日の午後1時40分
から5分間放送



3コーナーで構成。人
やまちの魅力を紹介
する、市民参加型の
情報番組です。

山口ケーブルビジョン (12チャンネル)

曜日	2/1(木) ~15(木) ①	2/16(金) ~28(水) ②
月・水 金・日	7:35 *12:25 18:05 *22:10	7:35 12:05 18:05 21:50
火・木 土	*7:55 12:05 *18:25 21:50	

※「infoやまぐち」「ごっぼう ええのお～」
のみの放送 (20分)

「このまちに愛たい」(20分)

- ① 次世代に伝えるもの ~多世代交流~
- ② やまぐちびと 福田百合子さん

「infoやまぐち」(10分)

1週間更新で、市からのお知らせを放映

「ごっぼう ええのお～」(10分)

市内のいいモノ、ヒト、トコロなどを
「ごっぼう」楽しくご紹介します。



市政のPRから地域情
報まで、生活に身近
な話題を幅広くお届け
します。

山口朝日放送 (YAB)

毎週水曜日午後1時55分から4分間放送

- 7日 「ご存じですか?
住民税が変わります」
- 14日 「パパも一緒に育児体験!
~パパママ学級~」
- 21日 「ふるさと歴史散歩 龍福寺」
- 28日 「地域で生き生き暮らすために
~男性料理教室~」

私たちのまち



主に市政および市
からのお知らせを
分かりやすくお伝
えする番組です。

テレビ山口 (TYS)

毎週日曜日午前11時40分から4分間放送

- 4・11日 「住民税が変わります」
- 18・25日 「転入転出の手続きは
お早めに」

ごみ減量とリサイクルへの取り組みについて 市内の事業所に伺いました



昨年8月に市が実施したごみ減量・リサイクルに関するアンケートのうち、今回は事業所アンケートの結果について、主なものをお伝えします。

■問い合わせ 市ごみ減量推進課 (☎083-934-2777)

調査の概要

■対象

市内にある全事業所から、業種・規模等を考慮して抽出した500事業所

■期間

平成18年8月18日に郵送し、9月22日到着分までを集計・分析しました。

発送数	500通
回収数	314事業所
回収率	62.8%

調査結果を閲覧できます

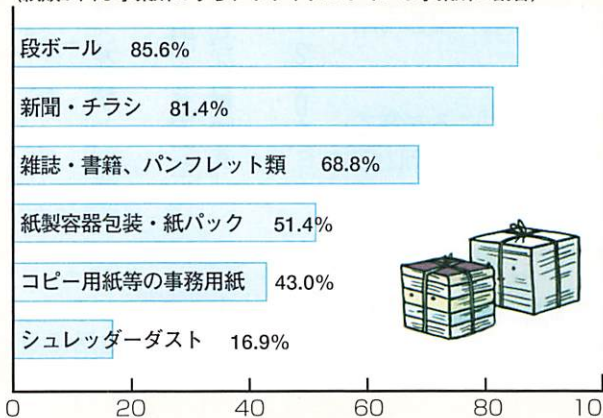
「ごみ減量・リサイクルに関するアンケート調査結果(市民・事業所)」については、次の場所および市ホームページ(表紙参照)でもご覧いただけます。

■閲覧場所

山口総合支所1階市政情報コーナー、小郡・阿知須・徳地各総合支所1階ロビー、秋穂総合支所2階ロビー

事業所におけるごみのリサイクル率は？

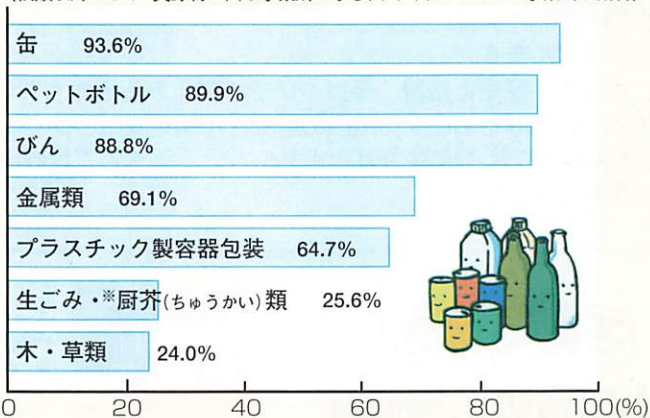
【グラフ1】紙類のリサイクル取り組み率
(紙類が出る事業所のうち、リサイクルしている事業所の割合)



8割以上の事業所が段ボール、新聞・チラシのリサイクルに取り組んでいるね。コピー用紙等の事務用紙やシュレッダーダストのリサイクルをしている事業所はまだ少ないみたいだね。【グラフ1】



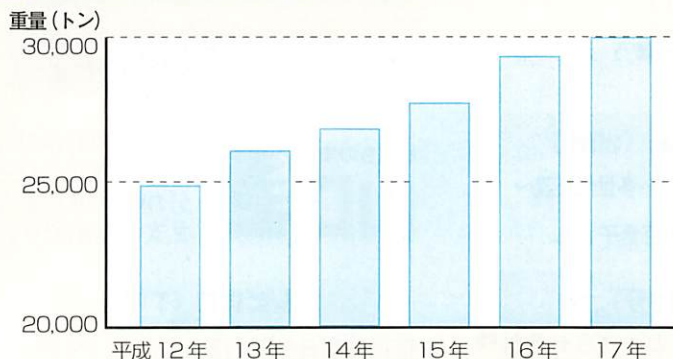
【グラフ2】紙類以外のごみ・資源物のリサイクル取り組み率
(紙類以外のごみ・資源物が出る事業所のうち、リサイクルしている事業所の割合)



※厨芥…台所から出る野菜くずや食べ物の残りなどのごみ

多くの事業所が缶、ペットボトル、びんのリサイクルに取り組んでいるね。生ごみなどのリサイクルがもっと進むといいね。【グラフ2】

事業所から出る燃やせるごみの量は？



山口市は全国平均と比べて事業系ごみの量が多いことから、各事業所におけるさらなるごみ減量・リサイクルの取り組みが必要です。

あなたのお勤め先でも リサイクルの取り組みを！

事業所から出る資源物については、事前に登録を行うと市リサイクルプラザや各地域のストックヤードに無料で持ち込むことができます。

また、機密文書やシュレッダーダスト、生ごみのリサイクルを行っている業者があります。詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ・資源物の持ち込み登録

市ごみ減量推進課(☎083-934-2743)、小郡総合支所環境衛生課(☎083-973-8136)、各総合支所市民課▽秋穂(☎083-984-8022)▽阿知須(☎0836-65-4113)▽徳地(☎0835-52-1113)



循環型社会を目指して

循環型社会に関する啓発・アンケート調査を行いました

市では昨年、各地域の行事等において、※循環型社会に関する啓発およびアンケート調査を実施しました。

今回は、啓発の内容、アンケート調査の結果について紹介します。

■問い合わせ 市環境保全課 (☎083-934-2775)

※循環型社会

適正な3R(リデュース…発生抑制、リユース…再使用、リサイクル…再生利用)と処分により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会

啓発、アンケート調査の概要

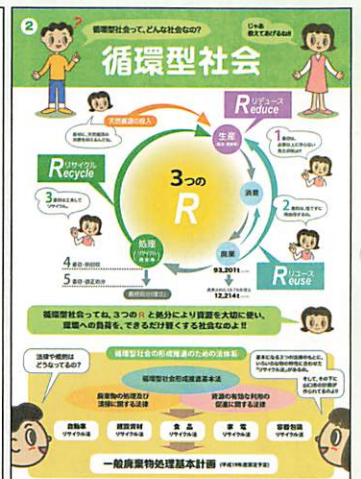
- 内容 循環型社会に関するもの
- 実施場所 市内各地区のまつり(16カ所)、やまぐちエコパークまつり、空き缶ゼロの日(チラシの配付のみ)
- 期間 平成18年10月1日～11月26日

啓発の内容

- 啓発チラシ「循環型社会形成を目指して」の配付
循環型社会等における、ごみ処理の流れ、鉄・アルミの再資源化、ごみの減量化のための施設「(仮称)山口市リサイクルセンター」での処理の流れ、新しい最終処分場の計画について紹介したチラシの配付を行いました。
※配付枚数 2,566枚
- 啓発パネル「循環型社会に向けての取り組み」の展示
循環型社会、正しいごみの分別、可燃物・資源物・不燃物の処理の流れ等について紹介したパネル展示を行いました。



チラシの一部

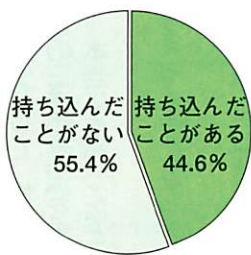


パネルの一部

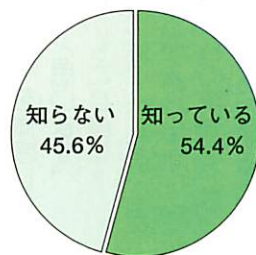
アンケート調査の結果(主なもの)

■アンケート回収総数
1,631枚

Q あなたは分別した資源物を回収拠点(リサイクルプラザ、周布町資源物ステーション、徳地ストックヤードのいずれか)へ持ち込んだことがありますか。



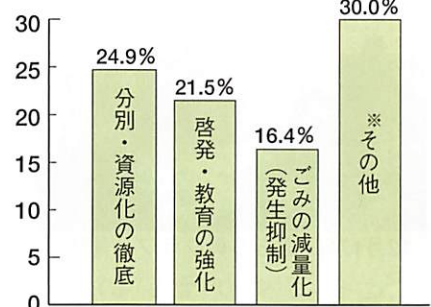
Q 山口地域の「^{こうた}神田一般廃棄物最終処分場」の残余容量がわずかとなり、新しい一般廃棄物最終処分場の早期整備が必要となっています。このことについてご存じですか。



※神田一般廃棄物最終処分場の現状

- 埋立容量 341,875 立方メートル
- 埋立開始 平成3年4月
- 残余容量 約35,000 立方メートル (平成18年4月現在)

Q 循環型社会に関する意見、提案等(主なもの)



※その他の主なもの

「市民の協力・各自の自覚が必要」「企業の努力(製造～回収)が必要」「循環型社会形成(地球温暖化防止、環境保全の観点から)に向けた取り組みの一層の推進が必要」

循環型社会に関する啓発チラシ、パネル、調査結果を閲覧できます

啓発チラシ、パネル(A4縮小版)、アンケート調査の結果については、市ホームページ(表紙参照)暮らしの情報を分野別で探す:「ごみ・環境衛生」→循環型社会の形成:「循環型社会形成を目指して」「循環型社会に向けての取り組み」「循環型社会に関するアンケートについて」、または次の場所でもご覧いただけます。

- 閲覧場所 市環境保全課、小郡総合支所環境衛生課、秋穂・阿知須・徳地の各総合支所市民課
- パネル展示 市リサイクルプラザ1階ロビー(大内御堀489-8)

アンケート結果では「分別・資源化の徹底」が意見・提案等の上位に挙がっています。ごみを出す時にごみの分別や減量化について考え、行動することで、適正な処理が行えます。循環型社会の形成に向けた、市民・事業者のみなさんのご協力をお願いします。



めざすまちスタイル びとづくり No.14



人々が集うまち

道の駅「きららあじす」スタッフ
(阿知須まち開発株式会社 職員)

伊藤 貴子さん (阿知須地域在住)

地元の野菜や特産品が好評の「道の駅『きららあじす』で働く伊藤貴子さん。「道の駅」での企画づくりりなど、日常の業務をこなしながら、企画に多くの人の意見を取り入れるため「きららふれあいサポーター」を立ち上げました。道の駅を拠点とした地域づくりに励む伊藤さんに、その思いをお聞きしました。



11月26日発足会
「おいでよ! 青空野菜クッキング」

■「道の駅『きららあじす』で担当されていることについて教えてください。」

2階展示スペースの企画や、自然体験・交流活動の企画、運営を担当しています。道の駅きららあじすは、都市住民が農山漁村の自然や文化に触れる機会を提供する「むらまち交流ステーション」としての機能も備えており、地域資源を生かしたさまざまな活動を企画し、来訪者みなさんに提供しています。

■「きららふれあいサポーター」とは?

「きららあじす」では、住民手作りの作品展示や体験・交流活動を通じて、多

くの人に阿知須の良さを知ってもらおうと活動しています。さまざまな人が企画に参加することで活動の輪を広げるため「きららふれあいサポーター」の制度をスタートさせました。現在、市内外から約20人の方にサポーターとして登録してもらっており、みなでアイデアを出し合っており、企画づくりや運営に取り組んでいます。

昨年11月に発足会を行い、初めての体験活動を実施しました。12月にはサポーターで考えた企画第一弾「きららのクラフト体験」手作りりで12月をかわさるこ

を開催し、リース作りやしめ縄作りの指導を、地域の名人や道の駅の出荷者にお願いました。道の駅を介して、地域サポーター、お客さまの三者の交流を実現させることができ、本当に良かったと思います。

■「地域づくり」を考えるようになったきっかけは?

大学生の時、町歩きを通して地域性を感じることに面白さを知り、地域に残る古い建物を再利用した美術館のボランティアスタッフとして活動しました。そこに住む人たちが、独特の町並みや風景を残した地元を誇りを持ち、今あるものを活用して自分たちができることを続けていく「地域そのものを生かした地域づくり」を体感したことが、今に生きています。

■「これからの目標は?」

地域には、人、もの、自然、文化などの資源が必ずあります。阿知須の良さであるこれらの資源を、もっとたくさんの人に知ってもらえるように発信していくために、サポーターのみなさんと一緒に「私たちにできること」を一つずつ行いながら、活動を続けていきたいと思っています。地域そのものを生かしたまちづくりが広がると、山口がもっと元気になると思います。



12月17日「きららのクラフト体験」

まち再発見 行ってみてん来てみてん

山口市の知られざる魅力をご紹介します!

阿知須 井関地区

【年間行事】

- ・ 巖島神社例祭
「闘鶏踊り」(4月)
- ・ 北方八幡宮例祭(9月)



お姫様松



北方八幡宮

阿知須地域の内陸部一帯の井関地区は、明栄寺の「お姫様松」、「北方八幡宮」など、歴史的な見どころの多い地区です。天気が良ければ九州まで望める眺めが素晴らしい巨大な一枚岩「六畳岩」までは、地域のまちづくりグループ「引野同士会」がハイキングコース「六畳岩二千年回道」を整備しており、史跡等を巡りながら山歩きが楽しめます。また歩いた後の「阿知須温泉」もオススメ! 健康的な休日をご過ごしてみませんか。

やまぐち生活がぶちよくなる情報をお待ちしています。ボランティア取材スタッフ募集中!

企画
編集

市民まちづくり情報センター

info@ycnet.jp

やこねっと

(☎ 083-934-2753 | ☎ 083-934-2643 市広報広聴課気付)



地域広報紙 編集団体 あいおしらせたい

連絡先 TEL 083-984-8021
(秋穂総合支所総務課内)

代表者 小ばやし としえ 小林 淑恵



私たちは「秋穂を多くの人に知らせたい」という思いを持って活動する「秋穂のいいところ発見隊」です。これからも秋穂の魅力を探求し「地域広報紙あいお」で伝えていきます！

「あいおしらせたい」は昨年8月に発足し、秋穂地域が大好きなメンバー4人が、同年10月から3カ月に1回「地域広報紙あいお」を企画・編集しています。創刊号の紙面では、旧1市4町の合併に対する意見を集めた特集や、地域からのお知らせのほか、秋穂地域のイベントでの地域のみなさんの生き生きとした表情を「フォトレポート」として紹介しています。

「地域広報紙あいお」を作り始めてから「日々の取材は大変だけど、以前にも増して秋穂が好きになった」と、楽しみながらメンバー一同活動しています。自分たちでの情報収集に加え、秋穂地域のすべての人に、気軽に情報や意見をもらえるような、作り手と読み手の双方向から発信できる広報紙作りが目標です。



主な活動内容

- ・「地域広報紙あいお」の企画・編集

秋穂総合支所と大海支所のロビーで「あいおしらせたい」が撮影した地域イベントの写真を展示中。ぜひご覧ください！



今月は、昨年10月に創刊された
各地域の広報紙を作るまぢぐるにスポット！



おごおりライフネット

連絡先 TEL 083-973-7413 (野村様方)

代表者 のむら さとみ 野村 聡美



「小郡地域を元気にすることが、山口市を元気にし、やがては山口県全体を元気にすることにつながる」と、私たちは考えています。「地域広報紙おごおり」を制作しながら、元気の輪を広げていきます！

「おごおりライフネット」は、小郡地域のまぢづくりの推進や活性化を目的に、昨年8月に発足しました。同年10月からは、毎月1回発行される「地域広報紙おごおり」の企画・編集を行っています。おごおりライフネットでは「特派員制度」を設けて、小郡地域の各地区在住の特派員に新鮮な情報や記事を提供してもらい、広く地域に伝えています。また、地域に密着した話題を小郡出身者や世界中の人に知ってもらえるよう、ホームページ (<http://www.ogori-life.net/>) を開設し、情報を発信しています。

特派員は現在48人。小郡地域のすべての方に特派員になってほしいと願いながら、これからも活動していきます。



主な活動内容

- ・「地域広報紙おごおり」の企画・編集
- ・ホームページを通じた小郡の情報の発信
- ・小郡が元気になるイベントの企画

まぢづくりイベント開催！

「元気発信！もっパラおごおり」
2月25日(日) 午前10時～午後4時30分
小郡ふれあいセンターにてヤスベエさん・ちひろさん・王丹さんの音楽トークショーなど

さぼらんて情報

NPOサポート講座

「骨太組織をめざして」
日時 2月19日(月)
午後1時30分～3時30分
講師 渡邊 孝夫氏
(西京銀行 代表取締役頭取)

NPO運営研修会

●vol.4「事業計画・事業報告の作成」
日時 2月20日(火) 午前10時～午後3時30分
●vol.5「NPO法人の会計って？」
日時 2月26日(月) 午後1時～4時30分
2月27日(火) 午前10時～午後4時30分
(全2回)

国際交流サロン 見たい！

知りたい！～ネパール訪問記～
日時 3月3日(土)
午後1時30分～3時30分
講師 小島 富美子氏
(ネパールの子どもたちに文具を支援する会)

お知らせ

市臨時職員登録募集

市臨時職員に、欠員などが生じた場合、事前に登録された方の中から、任用します。登録は随時受け付けています。

市販の履歴書に自筆で記入の上(資格等はすべて記入のこと)、提出してください。なお、登録有効期間は1年です。

採用職種

職種	基本的な勤務時間	賃金
一般事務	午前8時30分～午後5時15分 (月～金曜日)	日額6,560円 時給 820円
保育士 (要資格・要保育士証)	午前8時30分～午後5時15分 (月～金曜日) 午前8時30分～午後零時30分 (土曜日)	日額7,360円 時給 920円
環境衛生 整備員	午前8時15分～午後5時 (月～金曜日)	日額7,800円 時給 975円
給食調理員	午前8時30分～午後5時15分 (月～金曜日)	日額6,560円 時給 820円
幼稚園教諭 (要資格)	午前8時30分～午後5時15分 (月～金曜日)	日額7,360円 時給 920円

※賃金は19年度予定単価。任用条件により社会保険に加入していただきます。

申問 市職員課 (山口総合支所2階 ☎083・934・2727)

市立小中学校の臨時教員(補助教員)の募集

平成19年度の市立小中学校臨時教員(補助教員)の登録を受け付けます。必要に応じて、登録者の中から任用します。

登録期間 2月5日(月)～28日(水)
登録方法 履歴書(市学校教育課備え付け、または市販のもの)に自筆で必要事項を記入の上、写真を貼付し、本人が市学校教育課に直接提出
申問 市学校教育課(中央五丁目14・22 ☎083・934・28863)

「都市再生整備計画(一)の坂川周辺地区」の縦覧

市では、一の坂川を中心とする区域で、

山口総合支所	〒753・8650	龜山町2・1	083・922・4111
小郡総合支所	〒754・8511	小郡下郷609・1	083・973・2411
秋穂総合支所	〒754・1192	秋穂東6570	083・984・2121
阿知須総合支所	〒754・1292	阿知須2743	0836・65・4111
徳地総合支所	〒747・0292	徳地堀1744	0835・52・1112

「河川を活かしたにぎわいの再生」を目標として「一の坂川周辺地区まちづくり交付金事業を実施しています。

この度、計画の一部を変更したため、計画内容を記載した「都市再生整備計画(一の坂川周辺地区)」の縦覧を行います。

縦覧開始日 2月5日(月)
申問 市都市計画課(山口総合支所2階 ☎083・934・2831)

行政改革大綱(推進計画)に対する意見募集

本市が推進する行政改革の目標と、それを達成するための基本方針や改革の方向性を明らかにした「山口市行政改革大綱」および「山口市行政改革大綱推進計画」の素案について、みなさんご意見をお寄せください。

寄せられた意見は十分に検討し、それを踏まえ決定した計画については、改めて公表します。

なお、個々のご意見に対して直接回答しませんので、ご了承ください。
閲覧期間 2月6日(火)～3月14

日(水)
閲覧場所 各総合支所市政情報コーナー(市ホームページへ表紙参照でもご覧いただけます)

申問 3月14日(水・必着)までに、直接または郵送・FAX・Eメールのいずれかで〒住所・氏名・電話番号および「行政改革大綱(推進計画)に対する意見」と明記し、意見を記載の上、市行革推進課(山口総合支所3階 ☎083・934・2909 ㊟083・934・2944
☐ yokaku@city.yamaguchi.lg.jp)

県統計グラフィコンクール 入選作品展示

県統計協会が毎年実施している、統計グラフィコンクール入選作品のうち、市内中学生の作品を中心に展示します。

期間 2月7日(水)～14日(水)
場所 山口総合支所1階市民ホール
申問 市情報管理課統計調査室
(☎083・934・2748)

第5回山口市総合計画策定協議会の開催

協議会を山口総合支所3階 第10・11会議室で開催します。協議会は自由に傍聴できます。
 ■日時 2月15日(木) 午前10時～正午 ■問い合わせ 企画経営課 (☎083-934-2747)

新たな手口の振り込み詐欺にご注意を！

市内で新たな手口の「振り込み詐欺」が発生しています。その手口は、市役所の税務職員を名乗り「税金を還付する」と言いつつ安心させ、通帳番号やキャッシュカード等の情報を聞き出した上で、銀行やコンビニエンスストアのATM(現金自動預払機)に行くよう指示し、指定の番号に電話を掛けさせ、お金を振り込ませるものです。

山口市では、税金の還付に関して確認のために電話を掛けることはありますが、銀行やコンビニエンスストアのATMに行くようにはお願いすることはありません。疑わしい場合は、お問い合わせください。

■市収納課 (☎0833-934-2736)、地域生活課 (☎0833-934-2764)

市民なんでも生活相談会



市内で働く勤労者や市民を対象に、専門の相談員が、面談、電話、Eメールによる相談を受け付けます。相談は無料です。お気軽にご利用ください。

■日時 2月17日(土) 午前10時～午後3時 ※Eメール相談のみ2月3日(土)～17日(土)

■場所 山口県労働者福祉文化中央会

館(緑町3-29)

■内容 雇用条件や賃金、法律や介護など、職場や日常生活に関する相談

■電話番号など ☎0120-050000-7833 (携帯電話可)

※Eメール相談は連合山口・山口地域協議会のホームページから

■http://www6.ocn.ne.jp/~yama-u/

■山口地区労働者福祉協議会(☎083-9222-2003)、市商工振興課(☎0833-934-2719)

山口税務署からのお知らせ

平成18年分確定申告の会場は、中市コミュニケーションホールNac(中市町3-13)1階です。

■開設期間 3月15日(木)までの月～金曜日

■相談時間 午前9時～午後5時 ※平日以外にも、2月18・25日の日曜日に限り、同ホールで確定申告の相談・申告書を受け付けます(山口税務署では、電話相談のみ)。

■確定申告(納付)期限
 ・所得税：3月15日(木)
 ・個人事業者の消費税および地方消費税：4月2日(月)

・贈与税：3月15日(木)

※所得税の還付を受けるための申告は、受け付けを始めています。

■山口税務署

(☎0833-9222-1340)

節税対策は申告から

～あなたも所得税や市県民税の申告が必要かもしれません～

平成19年から、国から地方への税源移譲のため、所得税と市県民税の税率が変わります。これにより市県民税が増えますが、所得税が減るため、基本的に負担の増減はありません。ただし、定率減税の廃止や平成17年1月1日現在、65歳以上の方に適用される、非課税措置の廃止に伴う特例も段階的に縮減されるため、その分、負担が増えます。

申告相談の日程などは、市報1月15日号と併せて配布した「わたしたちの市税」に掲載していますので、ぜひご一読ください。また、税源移譲については、市ホームページ(表紙参照)にも詳しく掲載しています。



◆所得税から節税を考えてみませんか？

所得税の確定申告で医療費控除などの申告をすることは、市県民税の節税につながります。今回は、その中から、医療費控除についてご紹介します。医療費控除とは、前年、多額の医療費を支払った場合、一定の金額を所得金額から控除できるものです。詳しくは、右表と計算方法をご覧ください。

■医療費控除が適用される場合

だれが	だれのため	医療費を支払った
個人が	自己	①10万円(所得金額200万円以上の方) ②所得金額×5%(所得金額200万円未満の方) (例：所得金額100万円なら②は5万円) ※①と②いずれか少ない方の金額を超える部分が控除になります。
	配偶者	
	親族	

■医療費控除の計算方法

平成18年中に支払った医療費の額 - 保険等で補てんされる金額 = 医療費控除額 (200万円が上限)
 ①10万円
 ②所得金額×5% (①と②のいずれか少ない金額)

医療費控除を受けるには、確定申告か市県民税の申告が必要です。確定(市県民税)申告書の医療費控除の欄に記入し、申告書を完成させ、領収書と併せて提出しましょう。

所得金額や控除の内容は、一人ひとり異なります。申告の必要性の有無や所得計算の仕方など、詳しくは最寄りの総合支所の課税課・税務課にお問い合わせください。

■問い合わせ

市課税課(☎083-934-2735)、各総合支所税務課▽小郡(☎083-973-2415)▽秋穂(☎083-984-8024)▽阿知須(☎0836-65-4112)▽徳地(☎0835-52-1115)

原動機付自転車などの 廃車手続きはお忘れなく

軽自動車税は、毎年4月1日現在に軽自動車等を所有している方に、年税額で課税されます。4月2日以降に廃車手続きをしても、その年の税金は納めていただくこととなりますので、ご注意ください。

原動機付自転車（125cc以下）、小型特殊自動車（農耕用等）の廃車手続きに必要なものは、所有者の印鑑、ナンバープレート、車体番号が記載されている書類（標識交付証明書、自賠責保険証等）です。

※車種によって手続場所や持参品が異なりますので、各手続場所にお問い合わせください。

車種別の手続場所

車種	手続場所
原動機付自転車（125cc以下） 小型特殊自動車（農耕用等）	山口・小郡・秋穂・阿知須・徳地総合支所 （代表 山口総合支所 課税課 ☎083-934-2734）
軽自動車（二輪125cc～250cc以下）	山口県軽自動車協会 （山口市葵一丁目5-58 ☎083-922-8877）
軽自動車（三輪・四輪）	軽自動車検査協会 山口事務所 （山口市葵一丁目5-57 ☎083-924-0542）
二輪の小型自動車（250cc超）	中国運輸局山口運輸支局 （山口市宝町1-8 IP電話050-5540-2073）

市課税課

☎0833-934-2734

日本動物児童文学作品 を募集します

応募作品 小学生を対象読者とした動物の虐待防止・適正飼養、人と動物のふれあい・共生、動物の愛護などを扱った作品（未発表のものに限る）

応募資格 プロ・アマを問わず、15歳以上の方（過去の本賞受賞者を除く）

賞および副賞 動物児童文学大賞（副賞30万円）ほか

原稿の体裁 A4サイズ4000字詰め原稿用紙40～60枚

※原稿は返却しません。

申問 4月20日（金・消印有効）までに、山口県動物保護管理協会（〒754-0891 陶943-12 ☎083-973-8333）

常設テーマ展示「中原中」とフランス文学

山口市ゆかりの詩人中原中也に深い影響を与えたフランス文学。

本展示では、フランス詩の原書や翻訳草稿などを通じ、中」とフランス文学とのかわりを紹介するとともに、中也があこがれ続けたフランスの地で平成17年に刊行された、フランス語訳の「中原中也詩集」の世界を紹介します。

期間 2月16日（金）～平成20年2月17日（日）

※特別企画展開催期間を除く

開館時間 11月～4月：午前9時～午後5時30分 / 5月～10月：午前9時～午後6時30分
※いずれも、入館は30分前まで

料金 一般310円ほか
※展示準備のため、2月14日（水）・15日（木）は臨時休館

所問 中原中也記念館（湯田温泉一丁目11・21 ☎083-932-6430）

県営住宅募集案内

団地名（所在地）	間取り	家賃	戸数
4月上旬入居予定	西大橋（泉町1）	3DK 17,000～37,300円	1
	平川（吉田3083）	2DK 16,900～37,200円	1
随時	宮野下（宮野下1366-2）	3DK 13,400～31,800円	4
	平井（平井309-2）	3DK 16,400～36,500円	2
		4DK 21,100～46,400円	1
穂積（穂積町2）	3DK 22,600～52,200円	3	
随時	朝田特定公共賃貸住宅（朝田1980-2）	3LDK 65,900～69,500円	33

〔朝田特定公共賃貸住宅〕

受付期間 随時
申込資格（すべてに該当する方）
現に同居または同居しようとする親族がある方 / 法で定める収入基準に該当する方（一般世帯は月額20万円

以上、60万1000円以下）
〔朝田以外の団地〕
受付期間 2月20日（火）～28日（水・消印有効）
申込資格（すべてに該当する方）
住宅に困っていることが明らかなる親族がある方 / 法で定める収入基準に該当する方（一般世帯は月額20万円以下、高齢者・障がい者等の世帯は26万8000円以下）

申問 山口県住宅供給公社（〒753-8532 後河原150-1 ☎083-934-2004）

青少年育成者 フォーラム



地域ぐるみで青少年を育てるきっかけを見つけてみませんか（申込不要）

日時 2月17日（土）午後1時30分～4時30分

場所 山口南総合センター（名田島1218-1）

内容 周防大橋ふるさと太鼓 / 木下謙治氏（宇部フロンティア大学教授）による講演 / 事例発表「徳地ほんぼこ自然学校（徳地地域）」「地域子ども教室・里山体験（平川地区）」「ふれあいわんぱく塾（湯田地区）」

定員 500人（先着順）
受講料 無料

市生涯学習課

☎0833-934-2886

家庭教育講座 「子どもだてマナビイ」



すべての教育の出発点である家庭教育のあり方について学びます。各回ごとの受講も可能です(受講無料)。

日時	内容(講演名)	講師(敬称略)
2月 6日(火) 午後1時～2時20分	健康なところとからだを育てる	たはらクリニック 院長 田原卓浩
2月21日(水) 午前9時30分～11時	絵本の楽しさ	市立中央図書館 司書 長谷川雅美
2月26日(月) 午後2時15分～3時30分	親子ふれあい体操	やまぐち社会保険センター 健康運動指導士 野村浩司

■場所 大内公民館 ■託児 無料(要予約)
■定員 30人(先着順)

申請 市生涯学習課
(☎0833・934・2865)

小郡保健福祉センター が子育てを応援します

【離乳食スタート講座】

離乳食の進め方を学びます。

日時 3月2日(金) 午後1時30分

～3時

対象 生後2～5カ月の乳児とその保護者16組(先着順)

申込期間 2月5日(月)～3月1

日(木)

【ただこね育ちのすすめ】

反抗期の子どもの心の成長にどう寄り添うか、「こころの専門家」を囲んで一緒に考えてみませんか。

日時 3月9日(金) 午前10時～11時30分

講師 今井佳子氏(臨床心理士)

対象 2～3歳児の保護者

託児 無料(定員20人先着順)

※生後6カ月以上に限る

申込期間 2月5日(月)～3月7日(水)

【おはなし会「アップルパイ」】

【おむざに抱っこ】で、おはなし会に参加しよう(申込不要)。

日時 2月19日(月) 午前10時30分～11時30分

内容 読み聞かせ、紙芝居、図書館司書の「おすすめ絵本」紹介など

対象 2歳以上の幼児とその保護者

◆いずれも

料金 無料

所申請 市小郡保健福祉センター(小郡下郷609・5 ☎0833・973・8147)

人間ドック、簡易脳ドックが変わります

4月から国民健康保険の人間ドック、簡易脳ドックの対象者、検査項目および料金が変わります。

人間ドック・簡易脳ドックの対象者

75歳未満の方

※健診日に75歳に到達する方を除く

簡易脳ドックの検査項目/料金

MRI・MRA検査(頭部・頸部×線単純撮影の廃止) / 26000円

申込方法 事前に実施医療機関と日程・任意検査受診の有無を調整した後、保険証を持参の上、各総合支所の国民健康保険担当窓口、各出張所・支所で受診日の10日前までに手続きをしてください。

※FAXでの申し込みもできますので、お問い合わせください。

申請 市保険年金課(☎0833・934・2801)、各総合支所市民課▽小郡(☎0833・973・813)▽秋穂(☎0833・984・8022)▽阿知須(☎0836・65・4113)▽徳地(☎0835・52・1113)

2月1～7日は生活習慣病予防週間です

生活習慣病予防のため、次の「7つの健康習慣」を実践しましょう。

◇7つの健康習慣

- ・ぐっすり快眠
- ・喫煙しない
- ・肥満を予防する：メタボリック・シンドローム(内臓脂肪症候群)の予防のため、おへその周りのサイズを男性85センチメートル未満、女性90センチメートル未満に保ちましょう。

表紙写真説明



私立校が上位を占める中学校卓球競技で、公立中学校を率いる全国大会優勝など全国上位へと導いている岡本勝則先生(徳地中女子卓球部監督)。中学生の指導の傍ら、地域の小学生にも熱心に指導しています。

その指導について「技術論や練習方法・時間なども大切ですが、一番重要なのは子どもの意識。意識が高まると、子どもたちは厳しく自分と向き合い、自ら進んでその可能性を引き出していきます」と語ります。

常に厳しく指導に当たる先生ですが「大人が自分たちの物差しで、子どもの可能性を否定してはいけません。私は、いつでも彼らの可能性を信じています」と語る目は、子どもたちへの愛情にあふれていました。



岡本先生と徳地中女子卓球部

イメージは人の踊る姿

中原中也記念館で、企画展「日本のダダ」のオープニング・イベントが行われ、市内出身の書家 西村始翠氏が、躍動感あふれる書体で企画展のタイトルを書き上げました。「ダダ」とは、第一次世界大戦中にヨーロッパの芸術界で巻き起こった既存の価値観を否定する反芸術運動で、中也に大きな影響を与えました。同展は4月15日まで。(12月20日)



七草がゆで今年も元気

秋穂コミュニティセンターで「七草がゆを食べる会」が開催されました。七草がゆは、一年の無病息災を願い、また正月料理で疲れた胃を休めるために、昔から受け継がれてきました。会場には、竹馬や竹とんぼなどを体験するコーナーもあり、「食」と「遊び」を通じ日本の伝統を楽しみました。(1月7日)

阿知須の空に競う健脚

冬の風物詩となった「市駅伝競走大会」。今回からは、だれもが参加しやすい大会を目指し、会場を県立きららスポーツ交流公園に移しての開催となりました。5区間と7区間の計6部門に参加の101チームが、風のない絶好の駅伝日和の阿知須の空の下、日ごろ鍛えた自慢の健脚を競い合いました。(1月21日)



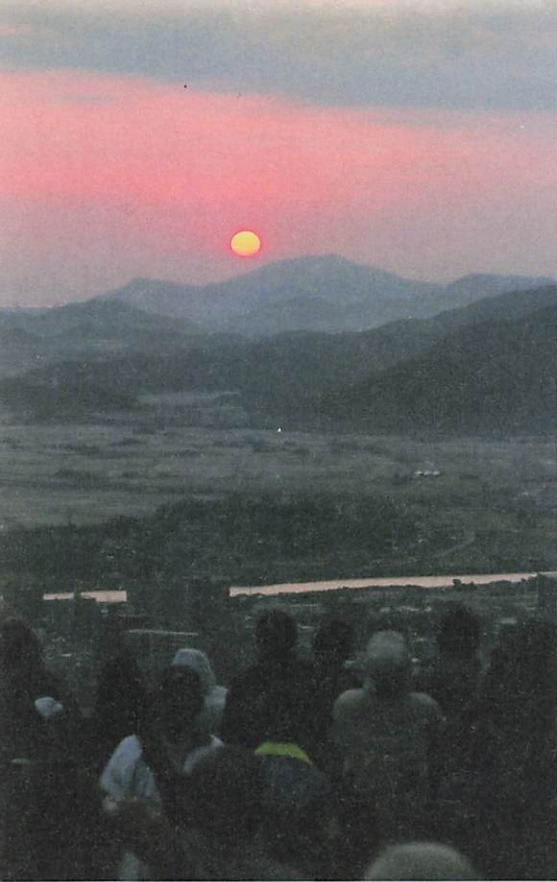
寒風吹きすさぶこの日、山口南総合センターで行われた「市消防出初式」には、各地域の消防団が集い、式典や観閲行進、熱い操法を披露する公開演技などが行われました。式の終わりを飾る一斉放水では、この一年の市内の防火を願うように、地域の消防団員の手で会場いっぱい、大きな水の軌跡が描かれました。(1月7日)

防火の願いを放水に込めて



シャッターチャンス!

12・1月の主なできごと



小郡の雨乞山では、毎年恒例の元日登山が行われました。今年は山際にたなびく雲間から、初日を望むことができました。暗い中集まった多くの市民は、初日を浴びた小郡の夜明けの風景を撮影したり、新年のあいさつを交わしたりと、寒い中にも穏やかな新年を迎えたことを互いに喜び合っていました。(1月1日)

初日を望んで、気持ち新たに



笑顔で再会

きらら元気ドームで「山口市成人式」が行われ、全市域から多くの若者が集いました。今年度成人を迎えたのは2,431人。会場では、華やかな振り袖や新しい背広に身を包んだ新成人たちが、友人との再会に笑顔の花を咲かせていました。(1月7日)



むつまじく あつまりて 水鳥の春

漂泊の俳人 種田山頭火の句を題材とした写真コンクール「山頭火フォトコンテスト」の表彰式が、小郡文化資料館で行われました。最優秀の「其中庵賞」を受賞した、萩市在住の三浦さんは「川面の岩に寄り添うオシドリの姿に『この句に、この写真!』と思いました。これからも楽しんで、写真と向かい合って行きます」と受賞作の前に語りました。(1月6日)

高く高く舞い上がれ!

山口徳地青少年自然の家の「徳地ぼんぼこ自然学校」で、どんど焼きが行われました。「燃えた書き初めが高く舞い上がるほど字が上手くなる」という言い伝えに、子どもたちは「僕の方が高いぞ」と競い合っていました。その後、熾き火で焼いた縁起物のだんごを、おいしそうに食べていました。(1月13日)



イベントカレンダー



※開催場所・時間など詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)	日付 (曜日)	イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)	日付 (曜日)	イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)	
	山口お宝展 「雪舟が愛したまち山口」 (~18日) (山口) 山口商工会議所 (☎083-925-2300)	2 (金)	第43回二科会写真部山口支部 写真展 (~4日) (小郡) 市小郡文化資料館 (☎083-973-7071)	12 (月・休)	市民ロードレース大会 (山口) 市スポーツ振興課 (☎083-934-2874)	
	いつでもアートふる山口 「浅原裕子 作品展」 (~18日) (山口) 大路口ビー (☎083-920-9220)	3 (土)	山口市民文化祭 (~4日) (山口) 市文化振興課 (☎083-934-2718)			
	「30×30 (サーティ・サーティ)」 記録映像・写真展「A MAN ON THE BRIDGE (アマン オンザ ブリッジ)」 (~26日) (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222)	4 (日)	第28回山口市川柳大会 (山口) 山口川柳吟社 (☎083-924-1995)		16 (金)	常設テーマ展示 「中原中也とフランス文学」 (~平成20年2月17日) (山口) 中原中也記念館 (☎083-932-6430)
	市歴史民俗資料館 収蔵資料特別展 (~3月4日) (山口) 市歴史民俗資料館 (☎083-924-7001)	7 (水)	「環境についてかんがえる」講演会 (山口) 市環境保全課 (☎083-934-2775)		17 (土)	青少年育成者フォーラム (山口) 市生涯学習課 (☎083-934-2866)
		8 (木)	第3回阿知須のひなもんまつり (~17日) (阿知須) 阿知須町商工会 (☎0836-65-2129)		18 (日)	山口の文化財を守る会 郷土史講座 (山口) 事務局 (☎083-920-4111)
	陶ひな人形とうつわ展 (~3月6日) (徳地) 重源の郷 (☎0835-52-1250)	9 (金)	第12回山頭火の句毛筆展 (~25日) (小郡) 市小郡文化資料館 (☎083-973-7071)		23 (金)	第30回山口市民 インディアカ大会 (山口) 事務局 (☎083-920-4338)
	企画展Ⅲ「日本のダダ」 (~4月15日) (山口) 中原中也記念館 (☎083-932-6430)	11 (日・祝)	2007年 いきいき健康増進 新春ウォークラリーin徳地 (徳地) 徳地教育支所生涯学習課 (☎0835-52-0217)		25 (日)	2007あじすEnjoy (エンジョイ) バドミントン大会 (阿知須) 阿知須公民館 (☎0836-65-2022)
					3/4 (日)	C・S赤れんが寄席 「春風亭正朝落語独演会」 (山口) C・S赤れんが (☎083-928-6666)
			魔法のリズ・ラーマン ワークショップ発表会 (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222)		3/4 (日)	元気発信!! もつバラおこおり (小郡) 実行委員会 (☎083-973-2411)
					3/4 (日)	生涯学習フェスティバル (秋穂) 秋穂公民館 (☎083-984-2132)

山口市長
渡辺純忠

そして今、私は新成人に式辞を贈る側として式に臨んでいます。壇上の私を見つめる若人の瞳の輝きは、未来を希求する純粋な思いにあふれています。時を経ても変わらないその輝きに、自分が成人を迎えるに当たり諸先輩からいただいた言葉を思わず口にしていません。

「今まで育んでくれた人や社会への感謝を糧に、それぞれの道を失敗を恐れず突き進もう」



1月7日に行われた成人式では、新市となつて初めて市内各地域から新成人が一同に会し、会場の阿知須きらら元気ドームはたいへんなにぎわいを見せました。再会を喜び合うその晴れ姿に、見ているこちらも明るい気持ちになりました。

私が成人を迎えたのは、いわゆる「学生運動が華やかなりころ」で、世の若者一人ひとりが社会への責任感を強く持っていました。私も「より良い社会を築く責任を全うするのだ」と純粋な気持ちで成人式に臨んだものです。

